

《文しょうもんだい 16》

いろいろな ぶんを よんで こたえる れんしゅうを しましろう。こたえを かく ときには もう いちど ぶんを よみなおしましろう。

【れいだい】

つぎの ぶんを よんで こたえましよう。

いーたさんは おとうさんと おかあさんと さんにして なつやすみの ことを はなして います。

（いーたさん） なつやすみに すいぞくかんに いく よね。ぼく まちどおしくて しょうがないんだ。

（おとうさん） うん。おとうさんも たのしみだよ。すいぞくかんには いろんな さかなが いるからね。いーたは なにが いちばん みたいの。

（いーたさん） やっぱり イルカショーかな。みずの

なかを すごい スピードで およいだり、ジャンプして わを くぐったり、はなの さきに ボールを のせて あそんだり、イルカつて、ほんとうに すごいんだ。

（おとうさん） そうか。そういえば、いーたは ようちえんの ときに いったんだよね。

（おかあさん） おかあさんも すいぞくかん すきよ。すいそうの なかを さかなが ゆっくり およいで いるのを みると、のんびりした きもちに なれるの。いーたは さかなの なかでは なにが いちばん すきな。

（いーたさん） ジンベイザメ。すつごく おおきくて、きもちよさそうに ゆっくり およいで いて かつこいい。ちかくに くとどきどきしちゃうんだ。

（おかあさん） いいね、ジンベイザメか…。おかあさんは クマノミも みたいなあ。ちっちゃくて きれいで かわいいじゃない。

(おとうさん) おとうさんは マンタが みたいな。みずの なかを およぐ すがたが、ま
るで はねを ひろげて とんで いる
みたいで すきだなあ。

(いーたさん) ぼく マンタ しらない。ぼくも マ
ンタを みて みたいな。

いーたさんの なつの たのしみが ひとつ
ふえました。

(1) いーたさんが すいぞくかんで いちばん た
のしみに して いる ものは なんですか。

(2) おかあさんは、すいそうの なかを さかなが
ゆつくり およいで いるのを みると、どんな
きもちに なりますか。() に あてはまる
ことばを かきましよう。

() きもち

(3) いーたさんは さかなの なかでは なにが
いちばん すきですか。

(4) おかあさんが みて みたいのは なんと
う さかなですか。

(5) おとうさんが みたいのは なんと
いう さかなですか。

【こたえ】

(1) イルカシヨール (2) のんびりした

(3) ジンベイザメ (4) クマノミ

(5) マンタ

【せつめい】

つぎのように 書いて あります。

(1) やっぱり イルカシヨールかな。

(2) のんびりした きもちに なれるの。

(3) いーたは さかなの なかでは なにが
いちばん すきな
の。

ジンベイザメ。

(4) おかあさんは クマノミも みたいなあ。

(5) おとうさんは マンタが みたいな。

つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

なつの あつい ひ、いーこさんは おかあさんと いえで スイカを たべて います。

(いーさん) ママ、この スイカ おいしいね。

(ママ) うん、おいしい。くちに 入れると ふわっと とけて あまいのが ひろがるわ。やっぱり なつは スイカが いちばんね。

(いーさん) ママが こどもの ころも スイカを たべたの。

(ママ) うん。みんなが あつまると よく たべてたよ。なつの いちばんの たのしみだったなあ。そういえば、おばあちゃん の いえでは、はたけで スイカをつくってたのよ。いーこ、しってた。

(いーさん) すごい。スイカが なって いる ところ みた こと ない。

(ママ) スイカの つるが はたけの うえを はって のびるの。はなが さいて しばらく すると ちいさな みが つい

て、それが だんだん おおきく なるんだ。おおきく なって たべられそう になったら スイカを ぼんぼんって たたくの。

(いーさん) どうして たたくの。

(ママ) たたくと おとが するでしょ。その おとで あまく なったか どうか が わかるんだって。ママは こどもだったから よく わからなかったけどね。

(いーさん) おもしろい。わたしも スイカが なっているの みて みたい。それから、ぼんぼんって たたいて みたい。はなも みたいけど、もう さいて ないのかな。

(ママ) いいわね。それじゃあ どのように パパも いっしょに おばあちゃんの ところに いきましよう。

さっそく いーこさんは おばあちゃんに だんなを かけて あそびに いく ことになりました。

(1) スイカを くちに 入れると どんな ふうに かんじますか。() に あてはまる ことばを かきましよう。

() とけて あまいのが ひろがる。

(2) おばあちゃんの いえでは スイカを どこで つくって いましたか。

(3) スイカを ぼんぽんと たたくのは スイカが どう なった ときですか。() に あてはまる ことばを かきましよう。

おおきく なって () なった とき

(4) スイカが あまく なったか どうかは なに で わかりますか。() に あてはまる ことばを かきましよう。

ぼんぽんと たたいた ときの ()

(5) いーこさんが おばあちゃんの いえに いくのは いつですか。

つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

らいしゅうの にちようびは、いーたさんのおじいちゃんの たんじようびです。いーたさんは おとうさんと たんじようびの プレゼントの ことを はなして います。

(いーたさん) おとうさん。おじいちゃんの たんじようび、もう すぐだよね。ぼく なにか プレゼントを あげたいな。どんな ものが ほしいのかなあ。おとうさんは なにが いいと おもう。

(おとうさん) そうだなあ。とくに これが ほしいって いう ものは なさそうだなあ。おじいちゃんは いーたが あそびに きて くれるのが いちばん うれしいって、まえに 行って いたけどねえ。

(いーたさん) もちろん。ぼく たんじようびには あいに いくよ。でも やっぱり なにか プレゼントも あげたいんだ。

(おとうさん) そうか。じゃあ ものじゃなくて な

にか して あげたら どうだい。そうだ。おじいちゃんの にがおえを かい て あげるって いうのは どうかな。おとうさんも いーたに かいでも らった にがおえ、とつても うれしかったから いまでも へやに かざっているよ。

(いーたさん) わかった。じゃあ そうする。ぼく がんばって かくよ。えのぐと ふでをもつて かなきや。かくのに じかんが かかるから あさから いこうね。

(おとうさん) ははは。はりきって いるなあ。きつと おじいちゃんは おおよろこびだ。でんわして おしゃれして おいても らう ことに しよう。

いーたさんは おじいちゃんの よろこぶか おが まちどおしく なりました。

(1) いーたさんの おじいちゃんの たんじょう
びは いつですか。()に あてはまる こ
とばを かきましよう。

らいしゅうの ()

(2) おじいちゃんは なにが いちばん うれし
いと いて いますか。()に あてはま
る ことばを かきましよう。

いーたが () くれる こと。

(3) いーたさんは どんな プレゼントを あげ
る ことに しましたか。()に あてはま
る ことばを かきましよう。

おじいちゃんの () を かいて
あげる。

(4) おじいちゃんに あいに いく とき、いー
たさんが もって いく ものは なんです
か。()に あてはまる ことばを かき
ましよう。

() と ふで

(5) いーたさんは なにが まちどおしく なり
ましたか。()に あてはまる ことばを
かきましよう。

おじいちゃんの () かお

つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

なつの あつい ひ、いーこさんは おかあさんと いえで スイカを たべて います。

(いーさん) ママ、この スイカ おいしいね。

(ママ) うん、おいしい。くちに 入れると さくつと とけて あまいのが ひろがるわ。やっぱり なつは スイカが いちばんね。

(いーさん) ママが こどもの ころも スイカを たべたの。

(ママ) うん。みんなが あつまると よく たべてたよ。なつの いちばんの たのしみだったなあ。そういえば、おばあちゃん の いえでは、はたけで スイカをつくってたのよ。いーこ、しってた。

(いーさん) すごい。スイカが なって いる ところ みた こと ない。

(ママ) スイカの つるが はたけの うえを はって のびるの。はなが さいて しばらく すると ちいさな みが つい

て、それが だんだん おおきく なるんだ。おおきく なって たべられそう になったら スイカを ぼんぼんって たたくの。

(いーさん) どうして たたくの。

(ママ) たたくと おとが するでしょ。あまくなるよ。いい おとが するんだって。ママは こどもだったから よく わからなかったけどね。

(いーさん) おもしろい。わたしも スイカが なって いるの みて みたいな。それから、ぼんぼんって たたいて みたい。はなも みたいけど、もう さいて ないのかな。

(ママ) いいわね。それじゃあ にちようびに パパも いっしょに おばあちゃんの ところに いきましよう。

さっそく いーこさんは おばあちゃんに でんわを かけて あそびに いく ことになりました。



(1) スイカを くちに 入れると どんな ふう
に かんじますか。()に あてはまる こ
とばを かきましよう。

() とけて あまいのが ひろがる。

(2) スイカを たべる ことは、こどもの ころ
の おかあさんに とって どんな ものでし
たか。()に あてはまる ことばを かき
ましよう。

なつの いちばんの ()。

(3) スイカが たべられそうに なったら、スイ
カを どんな ふうに たたきますか。()
に あてはまる ことばを かきましよう。

スイカを ()と たたく。

(4) スイカが あまく なったか どうかは ど
う やって わかりますか。()に あては
まる ことばを かきましよう。

あまく なると () おとが する。

(5) いーこさんが おばあちゃんの いえにい
くのは いつですか。

つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

らいしゅうの どようびは、いーたさんの お
じいちゃんの たんじょうびです。いーたさんは
おとうさんと たんじょうびの プレゼントの
ことを はなして います。

(いーたさん) おとうさん。おじいちゃんの たんじょ
うび、もう すぐだよね。ぼく なにか
プレゼントを あげたいな。どんな も
のが ほしいのかなあ。おとうさんは
なにが いいと おもう。

(おとうさん) そうだなあ。とくに これが ほしいつ
て いう ものは なさそうだなあ。お
じいちゃんは いーたが たのしそうに
して いるのが いちばん うれしいつ
て、まえに 行って いたけどねえ。

(いーたさん) もちろん。ぼくは いつでも たのし
いよ。でも やっぱり なにか プレゼ
ントも あげたいんだ。

(おとうさん) そうか。じゃあ ものじゃなくて な

にか して あげたら どうだい。そう
だ。おじいちゃんの におえを かい
て あげるって いうのは どうかな。
おとうさんも いーたに かいでも
らった におえ、とつても うれしかつ
たから いまでも へやに かざって
いるよ。

(いーたさん) わかった。じゃあ そうする。ぼく
がんばって かくよ。えのぐと ふでを
もって かなきや。かくのに じかん
が かかるから あさから いこうね。

(おとうさん) ははは。はりきって いるなあ。きつ
と おじいちゃんは おおよろこびだ。
でんわして おしゃれして おいて も
らう ことに しよう。

いーたさんは おじいちゃんの よろこぶ か
おが まちどおしく なりました。



(1) いーたさんの おじいちゃんの たんじょう
 びは いつですか。()に あてはまる こ
 とばを かきましよう。

らいしゅうの ()

(2) おじいちゃんは なにが いちばん うれし
 いと いった いますか。()に あてはま
 る ことばを かきましよう。

いーたが () して いる こと。

(3) いーたさんは どんな プレゼントを あげ
 る ことに しましたか。()に あてはま
 る ことばを かきましよう。

()の におえを かいて あ
 げる。

(4) おじいちゃんに あいに いく とき、いー
 たさんが もって いく ものは なんです
 か。()に あてはまる ことばを かきま
 しよう。

えのぐと ()

(5) におえを かく ことに きまって、いー
 たさんは どんな きもちに なりましたか。
 ()に あてはまる ことばを かきましよう。
 おじいちゃんの よろこぶ かが

() きもち



つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

いーさんは おかあさんと あしたの ことを はなして います。

(いーさん) ママ。あした いーたくんが うちに きても いいかな。

(ママ) あしたね。ええ、いいわよ。ママは、おでかけの ようじもないから いえに いるし、だいじょうぶ。なんじごろくるか きまつてるの。

(いーさん) にじごろかなあ。がっこうから かえたら すぐ くと おもう。

(ママ) うん、わかった。にじごろね。じゃあ おやつの クッキーを いーたくんの ぶんも つくって おくわね。オレソングが はいったのと チョコレートの。のみものは ジュースで いいよね。

(いーさん) うん、いいよ。ありがとう。とっても うれしいわ。

(ママ) あしたは いーたくんと なにを して あそぶの。

(いーさん) ハーモニカを れんしゅうするの。こ

んど がっこうで おんがくかいがあるから れんしゅうしなくちゃ いけないの。

(ママ) あら、おんがくかい いいわね。いーたくんと いーこは ハーモニカなのね。となりの こんちゃんも でのの。

(いーさん) もちろん。

(ママ) こんちゃんは なんの がつきを えんそうするの。

(いーさん) こだいこ。とっても じょうずなの。でも おとが とっても おおきいから あした いえの なかで いっしょには できないの。

(ママ) そうか。ちよつと ざんねんね。それにしても なにか たのしそう。ママも みて みたいなあ。

(いーさん) だいじょうぶ。あした しょうたいじょうを くれるって せんせいがいって たから ママも みに こられるよ。



それを きいた おかあさんは とても しあ
わせな きもちに なりました。あしたの クッ
キーは きつと おいしく できるでしょう。

(1) いーたさんは あしたの なんじごろに
いーこさんの いえに きますか。

(2) いーこさんの おかあさんが よういして
おいて くれる のみものは なんですか。

(3) いーこさんと いーたさんは、あした おん
がくかいの ために なんの れんしゅうを
しますか。

(4) こんちゃんが おんがくかいで えんそうす
る がつきは なんですか。

(5) あした せんせいが くれる ものは なん
ですか。



つぎの ぶんを よんで こたえましょう。

いーさんは おかあさんと あしたの ことを はなして います。

(いーさん) ママ。あした いーたくんが うちに きても いいかな。

(ママ) あしたね。ええ、いいわよ。ママは、おでかけの ようじもないから いえに いるし、だいじょうぶ。なんじごろ くるか きまつてるの。

(いーさん) いちじごろかなあ。がっこうから かえったら すぐ くと おもう。

(ママ) うん、わかった。いちじごろね。じゃあ おやつ の クッキーを いーたくんの ぶんも つくって おくわね。オレ ンジが はいったのと チョコレートの を。のみものは ジュースで いいよね。

(いーさん) うん、いいよ。ありがとう。とっても うれしいわ。

(ママ) あしたは いーたくんと なにを し

て あそぶの。

(いーさん) カスタネットを れんしゅうするの。こんど がっこうで おんがくかいがあるから れんしゅうしなくちゃ いけないの。

(ママ) あら、おんがくかい いいわね。いーたくんと いーこは カスタネットなのね。となりの こんちゃんも でのの。

(いーさん) もちろん。

(ママ) こんちゃんは なんの がつきを えんそうするの。

(いーさん) トライアングル。とっても じょうずなの。でも もって いないから あした いえで いっしょには できないの。そうか。ちよつと ざんねんね。それにしても なにか たのしそう。ママもみて みたいなあ。

(いーさん) だいじょうぶ。あした あんないじょうを くれるって せんせい が いったから ママも みに こられるよ。



それを きいた おかあさんは とても しあ
わせな きもちに なりました。あしたの クッ
キーは きつと おいしく できるでしょう。

(1) いーたさんは あしたの なんじごろに
いーこさんの いえに きますか。

(2) いーこさんの おかあさんが よういして
おいて くれる おやつは なんですか。

(3) いーこさんと いーたさんは、あした おん
がくかいの ために なんの れんしゅうを
しますか。

(4) こんちゃんが おんがくかいで えんそうす
る がつきは なんですか。

(5) あした せんせいが くれる ものは なん
ですか。